

会 議 録

会 議 名	令和4年度第2回小金井市市民協働推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和4年9月13日（火） 18時30分～19時55分		
開 催 場 所	第5会議室		
出 席 委 員	田中敬文 委員長 邦永洋子 副委員長 橋本 修 委員 森田眞希 委員 熊谷紀良 委員 西田 剛 委員		
欠 席 委 員	な し		
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 河田京子 コミュニティ文化課文化推進係長 岡本和晃 コミュニティ文化課文化推進係主任 津端友佳理 コミュニティ文化課文化推進係主事 佐原涼太 2 小金井市市民協働支援センター準備室 三崎 市民協働推進員 北脇 市民協働推進員		
傍 聴 の 可 否	一部不可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由	協働事業提案制度に関 する議題のため	傍聴者 数	0人
会 議 次 第	(1) 人事異動について (2) 令和3年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況 について (3) 協働事業提案制度について（審査） (4) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	(1) 令和3年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況 (2) 小金井市協働事業提案制度市民協働推進委員会評点結果 (3) 小金井市協働事業提案制度選考委員会評点結果		

【田中委員長】 ただいまから令和4年度第2回小金井市市民協働推進委員会を開催いたします。

本日の会議は傍聴可能となっておりますが、協働事業提案制度に関する議題については非公開となります。

それでは、まず配付資料の確認を事務局からお願いいたします。

【事務局】 事務局です。

それでは、資料の確認をさせていただきます。本日の会議資料は、次第を除いて3点となります。まず資料1、令和3年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況、次に資料2、小金井市協働事業提案制度市民協働推進委員会評点結果、次に資料3、小金井市協働事業提案制度選考委員会評点結果となります。

以上、お手元がない方、また不備不足等がございましたらお申しつけください。

【田中委員長】 よろしいでしょうか。

それでは、1番、人事異動についてです。次第の1について、事務局から人事異動の報告をお願いいたします。

【事務局】 事務局です。

8月1日付の人事異動により、コミュニティ文化課文化推進係に佐原が着任いたしました。今年度につきましては、コミュニティ文化課の職員は4名体制で協働に関する業務を行うこととしております。

それでは、一言御挨拶をお願いします。

【事務局】 8月で配属になりました佐原と申します。どうぞよろしくお願いたします。

【田中委員長】 どうぞよろしくお願いたします。

続きまして、2番、令和3年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況について、準備室から御報告をお願いいたします。

【事務局】 三崎と申します。こんばんは。令和3年度準備室の活動状況を報告いたします。

1番、番号で7点の主な業務を行っております。1点目、市民協働・市民活動についての相談、2点目、団体間、行政間のコーディネート、3点目、情報の収集、4点目、情報の発信、5点目、協働についての推進、6点目が団体等リストの管理、その他となっております。

開所時間は月曜日から金曜日の8時半から5時まで、社会福祉協議会の中にございます。

活動の内容としましては、数字のほうでは、連絡手段として、窓口、電話、ファクス、メール、合計となっております。メールでのやり取りがほぼとなっております。案件に含まれる内容としましては、行政との連携、またその他の御相談という形で承っております。

内容としましては、次の2ページ、3ページ、4ページにわたって、市民団体さん、または市民の皆さんからの御相談の内容をこちらのほうに記載させていただきました。どのようなことがありましたかと申しますと、大体2点ほどメインがありまして、1点目がNPO法人連絡会、それから福祉NPO法人連絡会というのがございまして、昨年度はNPO法人連絡会の体制協議という形で御一緒することが多くございました。年4回、今は開催する形で稼働されております。連携可能な形で何かそこでできるかなとい

う形で、世話人会の方と皆さんとお話を事前にしながら連絡会につなげるという形で進めております。福祉NPOに関しましては、課題などを共有させていただいて、どう連携できるかということをしてまいりました。主にコロナから販売機会が減少されておりましたので、どのように販路を拡大することができるかという形で、事業所販売会ですとか市民活動まつりでの物販という形で、何かそういう機会を御案内するという形でこちらのほうは御案内をしてまいりました。

今チラシを机に置かせていただいたんですけども、去年から市内ホステルさんとか市内の営利団体、それから事業者さんも出展いただいて一緒にお祭りをしましょうという形で御提案をいただいて、それを今年度してくださったのは他市の一般社団法人の方だったんですけども、それ以来、年2回、今年も10月2日にこちらのほうで企画してくださっているのをまたチラシができて、預かってもらいましたので、そちらのほうを置かせていただきました。

それから、相談として多かったのは、子ども食堂に関する問合せが多くございました。コロナで開催することができないことが多かったんですけども、連携支援するという形で今も相談が来ております。

それから、市民活動団体リストの内容の変更と更新をしてまいりました。相談内容につきましては、そのような形です。

5ページの3番、情報の収集なんですけれども、コロナ禍でしたので、なかなか御訪問する機会はなかったんですけども、調布市のたづくりコミュニティ文化課さんと御一緒させていただいて、お話を聞く機会がございました。

市民協働推進でのコミュニティ文化課さんとのミーティング、それから各種会合・行事への参加・協力などをしてまいりました。研修をなるべくと思ひまして、昨年度は地域ファシリテーター講座を受講する、それからパナソニックの組織強化を考えるですとか、防災・減災への研修、それから国際交流、地域共生などといった研修などを受けてまいりました。

昨年度の報告は以上です。

【田中委員長】 御報告どうもありがとうございました。皆様、御質問等がございましたらよろしくお願ひいたします。

【橋本委員】 この表ですけど、1番から左側に順番がありますけど、これは件数の数で書いているんですね。

【事務局】 はい。

【橋本委員】 そうすると、1,218件ぐらいあるんですけども、大体どれぐらいのところ。ですから、1件でも多分ついていると思うので、例えば10番目ぐらいのところ80%ぐらいの相談が来ているのかとか、そういうところが見えなかったの。どうかなと思って今聞いていました。大体の数でいいんですけども。

【事務局】 意見に対して、少々お待ちくださいませ。

【橋本委員】 例えば、12番の子ども食堂というのが結構相談が来ていますとお話しされていましたが、そうすると、これには幾つぐらいの相談が来たのかなと。そういう分布というか。

【事務局】 こちらのほうは、メール件数、こちらの相談件数となかなか、ボリューム感は表現されていなかったのですが、子ども食堂に関しては、毎月、毎週火曜に相談というか、1か所ではないので、市内の子ども食堂さん、それから都の御連絡ですとか、

それから市の連携も含めてですので、60件ほどあるかなという認識でございます。

【橋本委員】 内容が重複したりしていて、これがこっち、これがこっちとなかなか言えないようなところもあるかと思うので、なかなか難しい作業かなと思いますけど、何となく分布みたいなものがあると、この辺まではすごく相談事が多くて、そして関心があるんだろうなみたいなことが分かるとうれしいなと思いました。

【事務局】 分かりました。ありがとうございます。

【田中委員長】 ほかにはいかがでしょう。

私のほうから。この御報告のときに毎年私が聞かせていただいていることがありまして、それは先進都市への調査ということなんです。具体的にどこへ行かれて、どんなことが分かったのか、教えていただければありがたいです。

【事務局】 先ほど申し上げたんですが、昨年度は調布市の文化会館たづくりというところに伺いました。その前の推進委員会でこちらのほうのお名前でお話が出ましたものですから、そちらのほうのお話を聞いてみましょうかという形で依頼をしまして伺いました。実際にどのように運営していくかということが、当時、そのときにはお話に上がっておりましたので、実際にはどのような形で御利用されている方が多いのか、サービスはどのくらいしているかという形でお話を伺うことができました。

【田中委員長】 どうもありがとうございます。調布市文化会館は幾つかホールがありまして、たづくりとか、いろんな個性的なのがありますよね。みんな御覧になったりしたんでしょうか。

【事務局】 そうですね、拝見いたしました。

【田中委員長】 いかがでしたか、御覧になって。

【事務局】 なかなか自主事業だったり、幾つか配置されていまして、音響の面ですとか、そういう形でもきちんと工夫されていらっしゃるというのもありましたし、逆に音漏れを防止するためにこういうことをしていますよというお話もございましたし、いろいろなデメリットも感じつつ、運営をされているのかなということを感じました。

【田中委員長】 分かりました。どうもありがとうございます。

委員の皆様、ただいまの御報告等を通じて何か御意見等ございますでしょうか。

【熊谷委員】 今のたづくりに関しては、1つは場所のよさという意味で、市民が利用できるスペースが非常にあるということが多分小金井にとっても参考になるのかということと、もう一つはたづくりの場の社会教育の部門で、あれだけのセンターというか場所をつくっていらっしゃる。そういう意味では、多分、多摩地域ほか、小金井も含めてそうだと思うんですけども、活動としての市民活動を最初に推進するというだけではなくて、学習をしていくとか学びをつくっていく中で、学んで、そして活動するとか、学んで何か取組をしていく、課題を知って取組をしていくという、この辺のことが、市民が自由にできるということが充実していると思うんです。

そういう意味では、活動のいろいろ問合せが入っている中で、やっぱり知りたいとか学びたいとか、そういうことに対して、どう相談、情報提供していくのかというところで参考になるのではないかなと思いました。そういう意味で、この案件の中で、幾つか知りたいといった要望に対してどう応えているのかというところが見えてくるといいのではないかと思います。

ちなみにですけれども、今年度、例えば子ども食堂なんかは多分知りたいというお話がまず入ってきて、そこからということもあったりすると思うんですけども、これは

去年のところで、今年もう既に今9月になってきていますけれども、状況としてはどうなんでしょうか。これは数字的にというよりは傾向として結構なんですけれども、増えてきているのか、ほぼ同じぐらいなのか、そんなところを参考に聞ければなと思ったんですが、いかがですか。

【事務局】 子ども食堂の関連のお問合せにつきましては、週の中でも三、四回のように頻繁に、それはあらゆるところからで、1つのところからではないんですけれども、関心の高さはうかがえるかと思えます。子ども食堂を開催されるところももちろんですけれども、スーパーさんですか、スーパーでなくても食材を作っているところも、食材をどうしたらいいかという形で、今年度、市役所のほうにも相談してくる方もいらっしゃいましたので、関心の高さはうかがえるかなと思っております。

【熊谷委員】 そういう意味では、活動したいというだけではなくて、協力したいというところの協働の可能性みたいなところは、きっと増えているのかなということですね。

【事務局】 はい。

【熊谷委員】 ありがとうございます。

【田中委員長】 森田委員、コメントありますか。今の子ども食堂とかフードドライブとか、そういった関係で。

【森田委員】 直接の問合せで受けてもおりますし、あと来週、邦永委員と一緒にJCで呼ばれています。

【邦永副委員長】 今週だと思えます。

【森田委員】 今週だ、今週です。お話をしに行ってみます。

【田中委員長】 御承知のように、特に最近、この秋から6,000品目ぐらいたまた価格が上がるというのも伝えられていますし、もう上がり始めていますよね、小麦粉とかサラダ油とか。私、大学では家庭科にいたのでいろいろと。それで、食べ物調達することも今大変になってきているというお話も聞いたことがあるんですが、市民の方からフードドライブ等、いろいろと寄贈したいとかというのを利用できるとすごくいいなど。その結びつきがなかなか難しい。

【森田委員】 そうですね。うちでも幾つか今、地域食堂と銘打ってやって8年になるんですけれども、ある程度のルートがつくれているので、それをこれからやり始めるところと共有していきたいなと思うので、そこを一緒にお手伝いいただきながら連携を取っていくのが一番いいかなと思っております。

【田中委員長】 ぜひ進めていただければいいと思います。ほかにはいかがでしょうか。実は、番号がついているリストはいろいろ聞きたいところもあるんですけど、それだけで多分時間を取ってしまうと思いますので、ここまでにさせていただければと思います。こういうふう具体的に記録を残しておいていただいて、大変。これを書くのは実は大変なんです。用意しておいていただいて大変ありがたいと思っております。よろしいでしょうか。

そうしましたら、本日出ました御質問、御意見等につきましては、今後の準備室の運営の参考にぜひしていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。

【田中委員長】 それでは、今日は傍聴者はいらっしゃらないので、次に進めさせていただきます。

3番目、いよいよ協働事業提案制度について（審査）です。ただいまから令和4年度実施の協働事業提案制度の審査を行います。本日は、協働事業提案制度の選考に関する議題となりますことから、ここからは非公開として会議を行います。

ここから、協働事業提案制度の内容にかかると非公開

— 了 —